

審査委員会において審議

大学等名：〇〇大学□□研究科△△専攻

教育理念（教育方針）及び今後目指すべき方向性	今後5年間の機能強化構想	区分 (※)	取組名	取組の概要			取組重要度	評価結果				
				期間	内容	進捗状況		各取組の実績値	自己評価	各取組の評価 <A>	重要度反映点 【A×取組重要度】 	実績評価点 =加算率算定の評点 【重要度反映点の合計】 <C>
様式1の記載内容を記載。		①	取組①-1			新規の取組の場合は、「-」でも構いません。	10%	XXXXXXXXXX	b	3	0.30	2.70
			取組①-2				20%	XXX				
		④	取組④-1			機能強化構想に対し、合計「100」の数値を各評価指標に「重要度」として割り振り。	30%	OOOOO	b	3	0.90	
			取組④-2 【継続】				20%	▲▲▲▲▲	a	5	1.00	
		⑦	取組⑦-1				20%	c	1	0.20	
進級判定時の共通到達度確認試験の活用方法												

試算として、S評定=5点 A評定=3点、B評定=1点、C評定=0点として算定
(評定については、毎年度の委員会決定)

自己評価
a: 順調以上
b: 遅れているが今後の計画に支障はない
c: 遅れており、更なる工夫が必要

重要度反映点の合計
5点満点
(実績評価点を踏まえた総合評価点の区分は毎年度の委員会決定)

※【区分】

- ①未修者教育の充実
- ②社会人学生に対する支援
- ③女性法曹輩出に対する取組
- ④法曹コースをはじめとした学部との連携
- ⑤複数の法科大学院との連携
- ⑥地域の自治体や法曹界、産業界との連携
- ⑦教育の充実（ICTの活用、在学中受験に向けた教育課程の工夫、司法修習との連携 等）
- ⑧大学独自の取組

100%